

関係者各位

SHUN SUDO 個展「2020」 (2020年12月10日～27日)

ANB Tokyoでは、12月10日よりSHUN SUDOの個展を開催します。東京とニューヨークを行き来しながら活動し、壁画制作や、NIKEやAppleといった企業コラボレーションなど既に多方面から注目を集めているSHUN SUDOにとって今回が国内で三度目の個展となります。本展ではSHUN SUDOの代名詞ともいえるボタン・フラワーのモチーフを含む新作作品群をANB Tokyo 6FのANB Studioで制作、スタジオの様子や過去の壁画制作の様子を記録した映像も公開予定です。さらに、展示期間中、SHUN SUDO作品集『INSPIRATION』を200冊限定で発売します。エディションナンバー1～50は個展開催を記念し、スペシャルカバー&直筆サイン入りです。



《Solitude》2019年
アクリル、キャンバス | 80.3 x 80.3 cm



《Chronicle》2020年
アクリル、キャンバス | 60 x 60cm



《Chaotic Happiness》2015年
アクリル、キャンバス | 130.3 x 162 cm



《Innocent Forest》2018年
マイアミ・デザイン・ディストリクト2018 (フロリダ、米国) | 壁画

SHUN SUDO

1977年東京生まれ。世界を放浪しながら、独学でアートを学ぶ。映画、音楽、アニメ、スポーツなど、様々なジャンルからインスピレーションを受け、独自の作風を確立。水墨画を想起させる繊細な筆致、ストリートカルチャーに由来するポップな表現を組み合わせ生み出される多彩な“生き物”たち——ひとつのジャンルに収まらない世界観を創りだす。2015年、初の個展「PAINT OVER」をニューヨークで開催すると、翌年、ギャラリーガイド「BLOUIN GALLERY GUIDE」6・7・8月号の表紙に採用される。以来、国内外で個展を開催しながら、ニューヨークやマイアミ、銀座で描いた壁画も大きな話題に。NIKEやApple、SONYなど、企業とのコラボレーションも多数手掛け、その創作活動は日本のみならず世界のアートシーンでも注目を集めている。

WEB www.shunsudo.com

Instagram @shun_sudo



- 2020 壁画「Ginza Sony Park Project (銀座ソニーパークプロジェクト)」(東京、日本)
グループ展「SUMMER GATHERING」GR Gallery (ニューヨーク、米国)
- 2019 「MUSIC×ART×COFFEE」スターバックスリザーブ®ロースタリー東京 (東京、日本)
— 谷中敦氏 (東京スカパラダイスオーケストラ)、TAIHEI氏 (Suchmos) と即興ライブセッションを実施。
「TOKYO CREATIVE GUILD」アップル丸の内 (東京、日本)
— キービジュアルを担当。また、オープン初日のワークショップに講師として参加。
個展「Solitude」西武渋谷店 (東京、日本)
- 2018 壁画「Innocent Forest」マイアミ・デザイン・ディストリクト2018 (フロリダ、米国)
Art Miami 2018 (フロリダ、米国)
個展「INNOCENT FOREST」Onishi Gallery (ニューヨーク、米国)
- 2017 「Jump Around!!」ナイキキックスラウンジ表参道 (東京、日本)
— バスケットシューズ「Air Force 1」35周年を記念し、アートピースを制作。
個展「PAINT OVER」NAKAME GALLERY STREET (東京、日本)

メッセージ

NYで生活するつもりだった。いつもどおり友人たちとハグしてハイタッチして、笑いながら過ごすつもりだった。いつもどおりハッピーな気分で絵を描き続けるつもりだった。でも突然国境は閉ざされ、だれかと過ごすこともできなくなった。憧れの人は国境のない場所へと旅立った。だれもが怒り、悲しみ、そのやり場のない感情をだれかにぶつけようとした。希望を失いそうになった。それでも希望にすがらずにはいられなかった。

2020年は特別な1年だと、だれもがいう。たしかにそのとおりだと思う。感情が揺すぶられ、思考がとりみだれ、ときにはその両方がシャットダウンしそうにもなった。こんな経験はしたことがないし、もう二度としたくない。

でもひとつだけわかっていてある。アートは決して死なないということ。アートは決してロックダウンしないということ。だから僕は、僕が見た2020年の“景色”を描いてみようと思った。この時代を生きるひとりのアーティストとして、自分なりに特別な1年に向き合う。そうすることで僕は、この2020年を記憶に残そうと思う。

SHUN SUDO

展示概要（予定）

- 会場** ANB Tokyo 3F&6F
港区六本木5丁目2-4（六本木駅から徒歩3分）
- 会期** 2020年12月10日（木）～27日（日）
- 開催時間** 12:00～18:00（金・土曜日は20:00まで）
- 休館日** 月曜日
- 入場方法** 入場無料。オンライン事前予約制。

プレスの方へ

12月4日（金）～8日（火）：限定公開

壁画制作（3F ANB Gallery）および制作スタジオ（6F ANB Studio）を展覧会に先駆けて限定公開いたします。
※制作途中の作品が含まれますので、完成版は是非オープニングレセプションでご覧ください。

12月9日（木）：オープニングレセプション

15～18時：プレスプレビュー
19～21時：オープニングレセプション

お申し込みは事前申込みフォームよりお願いいたします。
申込みフォームURL：<https://forms.gle/ejBP7Tm5qepdkN2S6>



ANB Tokyoとは

2020年、六本木に誕生したANB Tokyoは、コミュニティラウンジやギャラリー、スタジオを有する新しいアートコンプレックスビルです。名前の由来は、既存の概念とは異なる何かを示す“Alternative”と、多様なものを受け入れる“Box”からきています。さらにはこの箱の中に、無数の物語“Narrative”が詰まっていくことを期待してスタートしました。世代やジャンルを超えたコミュニケーションから独自のネットワークを構築し、そこから生み出される可能性を開拓しながら、ANB Tokyoはアートと社会の新しい接続点となることを目指していきます。

TAAとは

アートを介して文化が息づくエコシステムを社会に醸成していくことを目指して設立された一般財団法人東京アートアクセラレーション（TAA）は、ANB Tokyoのほか、企業や行政と連携し、アーティストの表現活動、発表の場のチャンネル拡張を目指します。また自宅やオフィスにアートがある豊かな日常を目指し、プライベートな空間や時間におけるアートの在り方も提案していきます。

TAA

TOKYO ART
ACCELERATION

名称：一般財団法人東京アートアクセラレーション
設立日：令和元年11月26日
所在地：東京都港区六本木5-2-4 ANB Tokyo
代表理事：香田哲朗
共同代表：山峰潤也

問い合わせ

メール：admin@taa-fdn.org
ホームページ：<https://taa-fdn.org/>
Facebook：<https://www.facebook.com/taa.fdn>
Instagram：https://www.instagram.com/anb_tokyo/